

【バックカントリークラブ(BCC)】



(2023.4 梅池)

「バックカントリークラブ」は、2010 年に当時の JAC-YOUTHCLUB の有志メンバーが集まり、「山の楽しみ
の一つとして山スキーを行う場を提供すること」を目的に発足した、YOUTHCLUB 派生の同好会です。
成り立ちもあり、30 代-50 代前半のメンバーも多く参加しており、会員が相互に協力し合い運営しております。
主にスキーシーズンを中心に活動しており、「事故遭難を無くし、楽しく長くバックカントリー活動を行うこと」を
モットーに、メンバー各自がスキー技術に留まらず、雪崩遭難対策等を身に付け適切に行動できる「自立した
バックカントリープレイヤー」になることを目指していきます。

[会 員] ・会員 43 名 (構成: 男性 27 名,女性 16 名 ※基本首都圏在住(一部、現在遠隔地在住)

[活 動] ・「自立したバックカントリープレイヤー」を目指し、会員相互の活動として「会の山行」を企画し実施
することとしており、会員有志の誘い合いによる少人数での山行が活動の基本となる。
・2024-25 シーズンに「会の山行」として計画書の提出・実施された山行が 27 本。
また、メンバー誘い合わせにより、12-1 月を中心に各自がスキー練習を実施。
・また、会として継続して雪崩事故防止のための講習会等を行っている。
・運営はすべての会員が役割分担することを基本とし、各自遭難対策(在京連絡先等)を担っている。

[例 会] ・スキーシーズン(11 月から 5 月) 月 1 回 ※定例は第 3 火曜日 夜
※Zoom または、Zoom とルームのハイブリッド開催

[入会条件] ※以下は、入会条件の一部です。詳しくは添付「BCC 運営等について(抜粋)」をご確認ください。

・本会の活動内容と運営の方針等を理解し、その方針等に誠実に対応する意思があること。

・基本的な登山経験を有し、バックカントリー(BC)活動を行う基本的な体力と意欲を有すること

※BC の経験の有無は条件ではない。BC 初心者、入門者も可

・入会時において、当会の通常の BCC 活動に参加可能な範囲に居住及び 60 歳未満

※なお、BC に出るには一定の滑走力等が必要となることから、ゲレンデでの基礎的な滑走技術は
各自が自主的に身に着ける努力(スキー学校等受講等)をすることが前提

[代表 : 松延優太 事務局:出江俊夫(イズエ) 問い合わせ: bcc@jac1.or.jp]

※ご興味のある方は、上記アドレスにお問い合わせください。

<2024-25 山行実績等>

[山スキー山行 27 本(テレマーク集会ツアーを含む)、雪崩講習会 2 回、テレマーク集会 2 回]
(2023-24 シーズン山行 26 本、2022-23 シーズン 20 本)

※基本各山行は山スキー(テレマークスキーを含む)を使用

【スキー山行等】

○1/25(土)-26(日) 十二ヶ岳

○2/1(土) 佐渡山

★○2/1(土)~2/2(日) 小根子岳往復・乗鞍岳(切通下部)往復

○2/10(月) 小谷周辺(赤禿山)

○2/14(金)-16(日) 岩木山(嶽コース) 八甲田(大岳環状コース偵察)

○2/15(土)~2/16(火) 妙高 神奈山(藤巻尾根)・前山

○2/15(土)~16(日) 黒姫山七ツ池シュート・妙高前山

○2/22(土)-24(月) 乳頭山、秋田駒ヶ岳

◎○2/22(土)-24(月・祝) 妙高雪崩対策研修会

○3/1(土)~3/2(日) 妙高三田原山

★○3/8(土)~3/9(日) 乗鞍岳(肩の小屋)等(入門組の研修山行)

○3/8(土)~3/9(日) 鍋倉山、高デッキ山

○3/15(土)-16(日) 秋田駒ヶ岳

○◆3/22(土)-3/23(日) 乗鞍高原スキー場のサイドカントリー(テレマーク集会)

○3/22(土)~3/23(日) イグルースキー山行(火打山周辺)

○3/29(土)-30(日) 白馬・小谷周辺

○4/5(土) 白馬金山沢

○4/12(土)-13(日) 月山 (同日 2 チーム)

○4/18(金)~20(日) 岩木山・八甲田

○4/19(土) 至仏山日帰り (ワル沢滑走) (同日 2 チーム)

○4/30(水)-5/2(金) 雪倉岳二泊三日

○5/1(木)-3(土) 鳥海山 (湯ノ台コース、祓川コース)

○5/3(月・祝) - 5/6(火) 鳥海山(湯ノ台コース、吹浦口コース(鳥海湖))

★○5/10(土) 乗鞍岳 位ヶ原山荘~頂上往復

○6/6(金)-6/9(月) 北アルプス・立山

【雪崩講習等】

★◎1/18(土)-19(日) 雪崩講習会(初級)

◎○2/22(土)-24(月・祝) 妙高雪崩対策研修会

【その他(テレマーク集会等)】

◆1/11(土)-13(月) 第 1 回テレマーク集会

◆○3/22(土)~3/23(日) 第 2 回テレマーク集会 (再掲)

凡例: ○は「会としての山行」、★は入門組研修、◎は雪崩講習会等、◆テレマーク集会等

<バックカントリークラブの運営等について(抜粋)> 2023 年 12 月 19 日改定版

本会は「YOUTH-CLUB のメンバーに山の楽しみの一つとして山スキーを行う場を提供すること」を目的に、2010 年に当時の YOUTH-CLUB の有志メンバーが集まり JAC-同好会「バックカントリークラブ」として発足しました。以来、変遷はあるものの継続して YOUTH-CLUB 関連の団体として「事故遭難を無くし、楽しく長くバックカントリー活動を行うこと」をモットーに活動してきました。

1.運営方針

我々は、一定のリスクを前提とする「バックカントリー活動」の同好の士の集まりである。

安全の礎は、会員各位が節度をもって行動するとともに、会員同士が互いに理解を深め、常に仲間としての配慮をもって行動することから生まれてくる信頼である。

本会は、これら良好な人間関係を互いに築く意思のあるメンバーの集団でありたい。

また、運営に当たっては、同好の士が協力して運営する同好会組織であることを、会員各自が強く認識し、次項運営体制のメンバーであるなしにかかわらず、会員ひとり一人が、自らの参加する会の運営を支えるとの自覚のもと、経験・技術等に関係なく、それぞれの立場から自主的に運営にかかわることを共通の理解とする。

また、本会活動を通じ、会員がそれぞれの立場で常に自己研鑽に努めつつ、併せて会員相互の協力(持てる力を持ち寄りあい)により、スキー技術に留まらず、雪崩遭難対策等を身に着け適切に行動できる、それぞれのレベルで自立したバックカントリープレイヤーになることを目指していく。

4.会員の入会及び退会等

[入会の条件]

・本会への新たな入会は下記の条件をすべて満たすことを基本とする。

*日本山岳会会員であること

*原則として、YOUTH-CLUB、YOUTH 関連同好会である沢登同好会Ⅱ、平日クラブでの活動経験があること、もしくは、前記に準じた活動経験があること

*本会の活動内容と運営の方針等を理解していること

* BC 活動を行う基本的な体力と意欲を有すること(BC の経験の有無は条件ではない。)

*会員同士が互いの理解を深め、常に仲間としての配慮をもって行動し、良好な人間関係を互いに築く意思があること

*手続きを踏んで定められた会の決定事項等に誠実に対応する意思があること。

*BCC 在京連絡先体制の運営において各自の状況に応じ協力する意思があること

*遭難等緊急時対応において各自の能力に応じ協力する意思があること

*入会時点で、当会の通常の BCC 活動に参加可能な範囲に居住していること

*入会時点で、60 歳未満であること。(途中退会者の再入会を除く)

*2 名の BCC 会員の推薦(1 名はリーダー会メンバー)をうけること